



## 所信声明

### 助産師は産婦にとって最も身近な保健医療専門家

The Midwife is the First Choice Health Professional for Childbearing Women

#### 背景

能力を備えた分娩介助者に関する世界的な合意や、助産師の中心的な役割の認知をめぐって広く論議される中で、ICMは、妊娠・出産・産褥期の女性にとって最も適切な保健医療専門家として、助産師を明確に位置づける必要性を認識している。

教育を受け能力を備えた規制対象となる助産師および助産サービスを利用できることは、母体と新生児の死亡率・罹患率の軽減するうえで不可欠な資源である<sup>i iii</sup>。分析によると、妊産婦のニーズを完全に満たすには世界全体で35万人の助産師が不足しており<sup>iv</sup>、女性と新生児の死亡数の3分の2にあたる360万人の命を救える可能性がある<sup>v</sup>とされている。

#### 見解

ICMは、助産師が世界中の出産をむかえる女性にとって最適な専門家であると認識している。この普遍的な基準は、助産教育を基礎とした基礎助産能力や現任能力の上に成り立つ。ICMは、人間の尊厳に対する尊重、思いやり、すべての人に対する人権の推進に基づく助産ケアのモデルを推進する。

すべての妊産婦のニーズを満たすためには、世界中で助産師が不足している状況を踏まえると、ICMは、特に資源の少ない国々において母親と乳児を救命する上で、他の保健医療職が極めて重要な役割を果たすと認識している。助産師は、様々なレベルの保健医療職と協働しながら、すべての女性と新生児にとって出産を安全なものにするために務める。同時にすべての女性が助産師による普遍的なケアを受けられるようにしたいと望んでいる。

ICMは、あらゆる協働において、「助産師の国際定義」<sup>vi</sup>と「基本的助産業務に必須な能力」<sup>vii</sup>に定義される助産師および助産技術を、女性と新生児の健康とより良い状態（Well-being）に不可欠なものとして推奨し支持する。この信念は、ICMのあらゆる共同努力の根拠となる。包括的交渉の結果として譲歩した内容の声明が出される場合は、ICMは上記の達成における助産ケアの価値を支持する声明を並行して発表する。

## 会員協会への指針

会員協会には、以下の行動を求める。

- ICM 基本文書および所信声明に定義される助産師および助産技術を、女性と新生児の健康とウェルビーイングに不可欠なものとして推奨し支持すること
- この所信声明を必要に応じて教育プログラムや規制枠組みを拡大するための指針として利用し、産婦とその家族によりよいサービスを提供するために、各国の助産ケアの実践範囲において能力を備えた助産師の増加につなげること

## 関連 ICM 文書

ICM. 2010 基本文書	基本的助産業務に必須な能力
ICM. 2010 基本文書	助産師教育の世界基準（2013年改訂）
ICM. 2010 基本文書	助産師教育の世界基準——付属ガイドライン
ICM. 2010 基本文書	助産師教育の世界基準——教育用語集
ICM. 2011 基本文書	助産師の国際定義
ICM. 2011 基本文書	助産規制の世界基準

## その他の関連文書

UN. 2010. Every Woman Every Child. Global strategy for Women's and Children's Health.

UNFPA. 2011. The State of the World's Midwifery Report

WHO ICM FIGO. 2004. Making pregnancy safer: the critical role of the skilled attendant, a joint statement. Geneva, Switzerland: WHO/RHR, 2004.

WHO. 2013. The World Health Report 2013. Geneva, Switzerland.

## 2008年、グラスゴーでの国際評議会にて採択

2014年、プラハ国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2014年

i Yakoob et al. 2011. The effect of providing skilled attendance and emergency obstetric care in preventing stillbirths. BMC Public Health. Vol 11 (suppl. 3):S7.

<http://www.biomedcentral.com/1471-2458/11/S3/S7/>

ii UNFPA. 2011. State of the World Midwifery. <http://www.unfpa.org/sowmy/report/home.html>

iii Second Global Midwifery Symposium Strengthening Quality Midwifery Care:

Making Strides, Addressing Challenges, 26 - 27 May 2013, Kuala Lumpur, Malaysia

<http://www.internationalmidwives.org/assets/uploads/documents/Joint%20Statements/Joint%20Declaration.pdf>

iv UNFPA. 2011. State of the World Midwifery <http://www.unfpa.org/sowmy/report/home.html>

v Second Global Midwifery Symposium Strengthening Quality Midwifery Care:

Making Strides, Addressing Challenges, 26 - 27 May 2013, Kuala Lumpur, Malaysia

<http://www.internationalmidwives.org/assets/uploads/documents/Joint%20Statements/Joint%20Declaration.pdf>

vi ICM. 2011. International Definition of the Midwife

2016年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会 <http://www.midwife.or.jp/> に連絡し使用許諾を得てください。